

山口宇部空港ビル株式会社

令和4年度事業

山口県宇部市／不動産賃貸業・管理業

エネマネ事業者：アズビル株式会社

HP：https://www.yamaguchi-ube-airport-bldg.co.jp/

事業概要

山口宇部空港ビル株式会社は、1965年7月28日に設立されました。主な事業は、山口宇部空港のターミナルビルの管理・運営で、空港機能の維持と向上に貢献しています。業務として航空旅客や貨物への各種サービスの提供、貸室賃貸業など多岐にわたる事業を展開し、「空港を利用されるお客様にとって快適で、且つ地域の皆様に愛される空港」という理念に基づき、地域社会に貢献することを目指しています。

本事業では、EMSの更新を実施しました。これにより、効果検証ポイントの充実化を図り、制御・運用の検証と継続的なチューニングを行うことで、最大限の省エネルギー効果を発揮できる体制を構築しました。



事業者メッセージ

山口宇部空港の主たるターミナルである国内線旅客ターミナルビルは、2000年の竣工から年月が経過し、各種設備が省エネ性能の面で限界を迎えていました。また、空港を取り巻く環境の変化により、計画的な脱炭素化も求められていました。そこで、まずは省エネ診断を受診し、その診断結果に基づき本補助事業を活用して、既存の中央監視装置をEMSへと更新いたしました。これにより、空調設備の制御効率化と省エネルギー化を実現することができました。

省エネ効果

事業所全体の
エネルギー使用量

510.9(kl/年)

EMS導入による
省エネルギー量

25.0(kl/年)

EMS導入による
削減コスト

166(万円/年)

EMS導入による
省エネルギー率

4.8%

EMS導入による
CO₂削減効果

34.7(t-CO₂/年)

省エネのPOINT

照明のLED化や、飛行機発着のない時間の消灯などの省エネ対策を施していたが、更なる省エネ化を検討するため、省エネ診断を受診。

報告書

診断結果から、EMS本体の更新を実施



空調機のEMSによる効果

出力調整

インバータを導入し、室内温度に合わせてファンの回転数を増減

換気抑制

CO₂センサーで人の多さを監視し、排気や外気の取入れを最小限に抑制

自動停止

温度計に基づいた、空調機と排気ファンの自動発停(断続運転)



換気ファンの運用改善効果

可視化

温度センサーで室内の環境を正確に把握

適正化

データに基づくタイマー時間・設定温度の見直しと、運転時間の短縮

主な導入設備



空調 給気インバータ盤



ダクト挿入型CO₂センサ



機械室 室内用温度センサ